

2050年 二酸化炭素排出量実質ゼロを目指します

～地球に優しい環境都市の創造～

加西市には豊かな自然環境があり、その地域資源を活用して成長してきました。近年、地球温暖化が原因と考えられる猛暑や豪雨などによる大規模災害が、国内外で増え続けています。こうした気候変動による影響は、私たちが想像している以上に、身近で、極めて深刻な問題です。

2015年12月に気候変動抑制に関して採択されたパリ協定を踏まえ、世界の平均気温の上昇を産業革命以前に比べて1.5°Cに抑えるためには、2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする必要があると示されています。

持続可能な発展が広がる私たちのまちを将来に残すためには、私たち一人ひとりが当事者として危機感を持ち、優先すべきことは何かを見極め、脱炭素社会の実現に向けて行動を起こしていくことが必要です。道のりは険しいですが、急がなければなりません。

本市では、「エネルギーの地産地消が実現された脱炭素のまち加西」の実現に向けて、市民や事業者の皆さまと共に、創・省・蓄エネの活用などに取り組み、2050年までに本市の二酸化炭素排出量を実質ゼロにする脱炭素（カーボンニュートラル）を目指すことを宣言します。

令和3年2月26日

加 西 市